



SPIO

Newsletter

The Society for Promotion of International Oto-Rhino-Laryngology

平成21年4月30日(木)

9 第9号

財団法人
国際耳鼻咽喉科学振興会

— ご 挨拶 —

理事長 野村 恭也



平成20年度は皆様のご支援、ご協力のお陰で恙無く財団運営を行うことができましたことを心から感謝いたします。

最近では国際学会への助成だけでなく、国内学会においても招待講演に海外から著名な方々を招いており、SPIOでは国際学会に準じる扱いをして、招聘費用の一部を援助いたしております。国内、国際の枠を超えて、SPIOが学問の発展へ寄与するよう努力しています。

20年度は4件の国際学会、27件の国内学会へ助成ならびに募金活動のお手伝いをしました。研究者個人へは、若手外国人留学生4名に研究助成金各30万円を交付しました。現在までに13年間で21か国、延べ87名に助成が行われております。また、若手日本人医師を対象とした渡航費助成（戸田SPIO奨学金）については8名（海外の学会における研究発表に4名、海外留学に4名）に各20万円の助成を行いました。この事業は19年度より始まり、現在まで15名に助成が行われました。詳細はホームページ（<http://www.spio.or.jp>）をご覧ください。

SPIO出版については現在、宿題報告、教室の業績集、各1部の編纂・打ち合わせが進行しており、それらが上梓されるのを待ち望んでいるところです。

さて、平成21年はSPIOにとりまして特別な年です。その理由のひとつは、当財団が昭和44年11月28日に設立され、本年は40周年にあたることです。国際耳鼻咽喉科学会連合（IFOS）が昭和40年にわれわれの先達の提案により設立されました。SPIOはIFOSを支援する目的で設立され、IFOSの事務局は設立以降13年間、日本におかれておりました。その後、IFOSが拠点を国外に移してからはSPIOの役割も、日本における耳鼻咽喉科学の国際貢献へと変わりました。もうひとつの理由は、本年が文部科学省より特定公益増進法人としての認定を受けてから10年目に当たることです。この免税措置によって多くの耳鼻咽喉科及び関連学会の募金のお手伝いをしてきました。

現在まで継続して財団を支えてくださった賛助員の皆様に心から御礼を申し上げたいと存じます。賛助員の数は今なお増加しつつありますが、これは当財団の活動が皆様からのご理解をいただけるようになってきた現れであると思えます。

平成21年度の課題は新公益財団法人への移行準備です。SPIOは既に特定公益増進法人ですが、今後は公益法人認定法に則った公益法人として、平成20年12月1日より25年11月30日の移行期間内に申請を行い、公益認定されなければなりません。その準備はすでに昨年より始めておりますが、本年はその申請準備の総仕上げを行うこととなります。明年は新しい形の公益法人として社会に広く貢献したいと願っています。

平成20年度事業報告

1. 国際学術交流に対する助成
2. 国際学術会議等への助成
3. 留学生（4名）への研究助成
4. 若手日本人（8名）への渡航費助成
5. SPIO Award 受賞者の選出
6. 国際的研究の調査および資料の収集
7. ホームページ更新
8. ニュースレターの作成

SPIO クラブ

第110回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会の会期中、森山寛会長のご好意により会場内にSPIOクラブを設け、SPIOの助成活動のご案内及び賛助員の申し込み受付を行います。皆様が自由に懇談いただける場、情報交換の場として、是非お立ち寄りください。

平成21年5月14日(木)・15日(金) 10:00～17:00
ザ・プリンス・パークタワー東京 地下2階 すいせん2

平成 20 年度研究助成金交付者

若手外国人研究者への助成は大学耳鼻咽喉科学教室にて現在研究を行っている留学生を対象とするもので、20 年度は 4 名の留学生に各々 30 万円の助成を行いました。



1. **Majid Mohamed Safwat Hafez Mahmoud (エジプト)**
名古屋市立大学 (指導: 村上 信吾 教授)
研究テーマ: 顔面神経麻痺モデルを用いた中枢レベルでの NF- κ B の機能解析とその治療応用の可能性の探求
2. **婁 鴻 飛 (中国)**
東京医療センター・臨床研究(感覚器)センター (指導: 加我 君孝 感覚器センター長)
研究テーマ: 前庭頸筋電位 (VEMP) を用いた人工内耳患者の前庭機能の可塑性に関する研究
3. **Kannika Roongrotwattansiri (タイ)**
日本医科大学 (指導: 八木 聡明 教授)
研究テーマ: 鼻茸発生の初期段階および構造変化 / 再構築の所の機序
4. **Zainal Adhim (インドネシア)**
神戸大学 (指導: 丹生 健一 教授)
研究テーマ: キャリアー細胞を用いた頭頸部癌に対する遺伝子治療の開発に関する研究

戸田 SPIO 奨学金

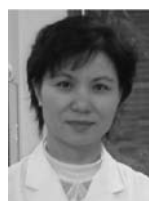
若手日本人耳鼻咽喉科医師に海外の学会における発表あるいは海外留学時の渡航費の一部として各 20 万円を助成しました。

1. **五島 史行 (日野市立病院耳鼻咽喉科)**
26th CINP congress (ドイツ・ミュンヘン)
2008 年 7 月 13 日～ 7 月 17 日
2. **瀬野 悟史 (滋賀医科大学耳鼻咽喉科)**
22nd ERS & 27th ISIAN (ギリシャ・クレタ)
2008 年 6 月 15 日～ 6 月 19 日
3. **中島 正志 (金沢大学大学院感覚運動病態学)**
Lineberger Comprehensive Cancer Center (米国)
留学期間 2009 年 3 月～ 2 年
4. **佐藤 輝幸 (秋田大学医学部感覚器学講座)**
Paparella Ear Head & Neck Institute (米国)
留学期間 2008 年 10 月～ 2 年
5. **鈴木 立俊 (北里大学医学部耳鼻咽喉科学)**
22nd ERS & 27th ISIAN (ギリシャ・クレタ)
2008 年 6 月 15 日～ 6 月 19 日
6. **中山 明仁 (北里大学医学部耳鼻咽喉科学)**
第 7 回国際頭頸部癌学会 (米国・サンフランシスコ)
2008 年 7 月 19 日～ 7 月 23 日
7. **中川 貴博 (神戸大学医学部付属病院)**
第 7 回国際頭頸部癌学会 (米国・サンフランシスコ)
2008 年 7 月 19 日～ 7 月 23 日
8. **松本 宗一 (新日鐵広畑病院耳鼻咽喉科)**
Karolinska University Hospital (スウェーデン)
留学期間 2008 年 9 月～ 2 年

平成 10・11 年度の研究助成金受領者の近況

首都医科大学附属北京同仁病院臨床聴覚学センター

黄 麗 輝



1996 年から 2002 年まで、東京大学医学部に留学し、その間、貴財団から研究助成金を 2 回頂き、留学生活に大変役に立ち、心より感謝いたします。

2002 年 3 月、東京大学医学部の博士号を取得、4 月に帰国し同年 9 月から 2004 年 8 月まで首都医科大学でポストドクターの研究を経て、2004 年 9 月より首都医科大学附属北京同仁病院、北京市耳鼻咽喉科研究所に勤務してきました。

中国では、年に約 2 千万人の新生児が出生するので、新生児聴覚スクリーニングは重要なことであると思います、帰国後は、主要な仕事として北京市 0～6 歳児聴覚スクリーニングの管理方法の作成、北京市 0～6 歳児聴覚診断センターの評価と設立、中国乳幼児早期聴覚検査及び療育のガイドラインの作成、農村に適応する新生児聴覚スクリーニングのシステムの確立など、大きい役割を果たしております。全国新生児聴覚スクリーニングの基礎と臨床研究にリーダーシップを発揮できたのは、日本で勉強した知識を大いに生かされたためと思います。これからも、中国全体で新生児聴覚スクリーニングの展開、難聴児の早期療育体制の確立に頑張りたいと思っています。

平成21年度研究助成金・戸田SPIO奨学金の交付募集について

申込み締め切りは、研究助成金は9月30日、戸田SPIO奨学金は8月31日です。交付申請を希望する方は所定の申請書類をお送りしますので事務局までご連絡ください。または申請書をホームページからダウンロードしてご使用ください。

交付者並びに交付金額は、選考委員会にて書類選考の上決定します。また、過去に助成金を受けた方も対象となります。推薦者がSPIOの賛助員でない場合はご加入をお願いします。詳しくはホームページを御覧ください。
http://www.spio.or.jp

SPIO Award

SPIO Awardは、毎年Auris Nasus Larynx (ANL)に掲載された原著論文の中より、優秀原著論文1篇に対し、その著者に賞状と賞金(5,000ドル)を贈呈しています。ただし、筆頭著者は45歳以下。また、受賞者には日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会において講演の場が与えられます。これは平成13年から始まり今までに6名の受賞者を選出しました。

平成20年度は52篇の中から対象となる4篇を審査した結果、京都府立医科大学の西尾健志氏が選ばれました。

Takeshi Nishio : Circadian gene expression in the murine larynx, Auris Nasus Larynx Vol.35, No.4, 539-544, 2008

平成21年度におきましても多くの優れた論文が日本国内だけでなく海外からもANL誌に寄せられることを期待しています。

賛助費納入のお礼

平成20年度も多くの賛助費を納入いただき皆様のご理解とご支援に深謝いたします。今後とも引き続きのご協力をお願い申し上げます。

	賛助費納入件数	金額(単位千円)
地方部会	40	1,010
医育機関	70	1,540
個人	178	3,950
企業	9	320
合計	297	6,820

賛助員の募集について

SPIOでは、毎年一口2万円以上ご寄付くださる方を賛助員、一時に40万円以上ご寄付くださる方を特別賛助員としています。なお、納入いただいた賛助金に対しては免税措置が得られます。

賛助員の加入につきましては事務局までお問い合わせください。賛助員加入申込書をお送りします。または申込書をホームページからダウンロードしてご使用ください。

http://www.spio.or.jp

加入申込書送付先及び問合せ先

〒113-0033

東京都文京区本郷3-4-5 ハイムお茶の水805

財団法人国際耳鼻咽喉科学振興会

TEL: 03-5684-3707 FAX: 03-5684-3708

払込方法

(郵便振替)

口座番号 00150-1-772753

加入者名 財団法人国際耳鼻咽喉科学振興会

(銀行振込)

銀行名 三菱東京UFJ銀行 麹町支店

口座番号 100145(普通)

口座名 財団法人国際耳鼻咽喉科学振興会

特定公益増進法人とは

公共法人、公益法人等その他特別の法律により設立された法人のうち、教育又は科学の振興、文化の向上、社会福祉への貢献その他公益の増進に著しく寄与する法人にのみ与えられる証明です。特定公益増進法人に対する寄付については、個人と法人とは異なりますが、その寄付に対して免税範囲を拡大するという税制上の優遇措置が得られます。(当財団は平成11年8月に特定公益増進法人の認可を受け、以降2年毎の更新認可を文部科学省より受けています)

税制上の優遇措置

所得税については、寄付金から5千円を差し引いた金額が寄付者の年間所得から控除されます(寄付金控除)。年間所得の30%が限度額です。この場合は確定申告が必要です。当財団が発行する領収書を添付して税務署に申告してください。(所得税法施行令第217条第1項第3号)

法人税については、事業所得の算出の際、一定の限度額の範囲内で、損金として算入することができます。限度額は、その法人の資本や所得の金額によって異なります。(法人税法施行令第77条第1項第3号)

SPIO 出版

日本の研究を英文の学術書として出版することはSPIOの寄付行為(定款)にも適った事業です。しかし、すぐに来るわけではありません。SPIOでは賛助員の皆様の業績集、宿題報告書、退任記念誌等から自費出版する場合に、編集協力のお世話から始めたいと考えています。

SPIO出版に関心がお有りの方は事務局へお問い合わせ下さい。申請をいただき、理事会で承認された後、編集の専門家が、構成・レイアウト・装丁等のコーディネートを行います。

平成20年度国際学術会議等への助成

第25回バラニー学会

第12回日韓耳鼻咽喉科・頭頸部外科学会

第15回世界気管支会議・第15回世界気管食道科学会議

国際生理学会第36回世界大会 国際シンポジウム

第54回日本聴覚医学会総会・学術講演会

第18回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会

第20回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会

第47回日本鼻科学会総会ならびに学術講演会

第110回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会

第110回日本耳鼻咽喉科学会宿題報告(竹中洋教授)

第111回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会

第30回ISIAN & 14回IRS

第3回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会

第4回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会

第21回日本口腔・咽頭科学会総会ならびに学術講演会

第18回日本耳科学会総会・学術講演会

第19回日本耳科学会総会・学術講演会

第20回日本耳科学会総会・学術講演会

第21回日本喉頭科学会総会ならびに学術講演会

第60回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会

第61回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会

第67回日本めまい平衡医学会総会・学術講演会

第68回日本めまい平衡医学会総会・学術講演会

第54回日本音声言語医学会総会・学術講演会

第71回耳鼻咽喉科臨床学会総会および学術講演会

第72回耳鼻咽喉科臨床学会総会および学術講演会

第27回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会

第20回日本微量元素学会学術集会

第32回日本顔面神経研究会

第52回日本感染症学会中日本地方会学術集会

第57回日本化学療法学会西日本支部総会

平成20年度収支決算報告(一部抜粋)

(単位:千円)

I. 事業活動収支の部		
1. 事業活動収入合計 (A)		152,580
2. 事業活動支出合計 ① + ② (B)		156,420
①事業費支出		139,162
②管理費支出		17,258
事業活動収支差額 (A) - (B)		△ 3,840

II. 投資活動収支の部、III. その他はホームページ参照

財団法人国際耳鼻咽喉科学振興会役員等一覧

理事長	野村 恭也	東京大学名誉教授
副理事長	市川銀一郎	順天堂大学名誉教授
常務理事	八木 聡明	日本医科大学大学院教授
	小松崎 篤	東京医科歯科大学名誉教授
	木田 亮紀	日本大学客員教授
理事	岡本 健	中部学院大学学長
	坂井 真	茅ヶ崎中央病院名誉院長
	鈴木 淳一	帝京大学名誉教授
	神崎 仁	国際医療福祉大学熱海病院教授
	直江 登	イーザイ株式会社執行役
監事	五十嵐 眞	宇宙航空研究開発機構特別客員研究員
	森山 寛	東京慈恵会医科大学教授
評議員	金原 優	株式会社医学書院社長
	林 重昭	第一医科株式会社会長
	村上 泰	京都地域医療学際研究所長
	加我 君孝	東京医療センター・臨床研究(感覚器)センターセンター長
	小川 郁	慶応義塾大学教授
	洲崎 春海	昭和大学教授
	小田 恂	東邦大学名誉教授
	高山 幹子	東京女子医科大学名誉教授
	喜田村 健	東京医科歯科大学教授
	飯野ゆき子	自治医科大学付属さいたま医療センター教授
	岡本 牧人	北里大学教授
	菊地 茂	埼玉医科大学総合医療センター教授
	池田 稔	日本大学教授
	吉原 俊雄	東京女子医科大学教授
	大森 孝一	福島県立医科大学教授
顧問	曾田 豊二	福岡大学名誉教授